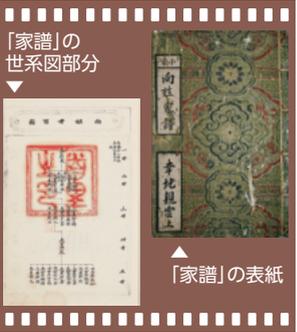


博物館 topics



那覇市歴史博物館企画展 「家譜でひも解く士族の世界」
 (士族にもいろいろありまして)

琉球王国時代では、王国行政を担う人々(王府役人)は「士」(明治以降「士族」と呼称)と、年貢を納めるための働き手(一般民衆)は「百姓」(明治以降「平民」と呼称)とに土農分離が進められました。この中で「士」層へ系図の編集・提出が命じられ、さらに「士」は、首里・那覇・泊村・久米村といった町方、「百姓」は、間切・二村(首里・那覇・泊村・久米村以外の地域)居住の原則が打ち出されました。1689年、王府内に「系図座」が設置されたことにより、「士」層は行政的に系図の編集・提出が求められ、「系図(家譜)」編さんが恒常的なものになっていきました。これにより系

図を持つ者(「士」系図)を持たない者(「無系」)、「百姓」という身分制が確定し、居住地の制限はもとより、着物の柄から屋敷の大きさなど衣食住さまざまな面で身分の違いが現れました。

一方、「士」層でもその居住地により、「首里士」「那覇士」「泊村士」「久米村士」と大別され、王府行政全般に仕える「首里士」や「泊村士」、薩摩藩役人の接待や貿易関係に仕える「那覇士」、对中国関係に仕える「久米村士」などその役割が決まられていきました。

今回の企画展では、歴史博物館に寄贈された家譜資料を中心に、家譜の書き方作り方を始め、居住地による役割の違いなど「士」層の仕事ぶり、生活などについて紹介し、また、企画展に併せ、ギャラリー歴史文化講座を開催し、展示会の内容をわかりやすく解説します。この機会に是非ご来館ください。

期 4月24日(水)まで
 入館料 一般300円

開館時間10時～19時 木曜休館 ☎869-5266

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

「厨子～門上秀叡・千恵子コレクション～」 ※厨子とは、沖縄の蔵骨器のことです。

この度、国の一括交付金を活用した「壺屋の歴史・文化発信事業」の一環として、厨子190基を購入いたしました。コレクションの中には壺屋焼の厨子の他、喜名・知花焼、古我知焼、八重山焼など、県内の様々な産地の厨子があり、資料的価値が高いだけでなく、芸術的にも素晴らしい作品が集まっています。本展では、那覇市指定有形文化財に指定された蔵骨器1727年製「壺」も展示されます。また、中国産輝緑岩製の石厨子もあり、類例は小禄墓(宜野湾市嘉敷)に収められている石厨子(県指定有形文化財)に求められます。小禄墓内石厨子には「弘治7(1494)年」の銘があるのに対して、本石厨子には「弘治5(1492)年」の銘があり、2年古い資料となります。この貴重なコレクション群の中から特徴的な作品30基程度を選び先行展示いたします。

市指定文化財 ▶ 壺(1727年)
 石厨子(1492年)



開館時間10時～18時(入館は17時半まで) ☎862-3761
月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 ☎862-3762

“パソコンラブル” 対処を学ぼう!

就職、独立、副業などに活かせる技術!

「パソコン整備士養成講座」那覇校・うるま校

「パソコンが動かない!」「エラーメッセージが分からない!」など突然のトラブルで困った経験はありませんか。

創造力開発センターの「パソコン整備士養成講座」(22テーマ・6ヶ月間定員15名)では、分かりにくいパソコン用語や本体のしくみ、さまざまなトラブルの対処法、ネットワーク構築やセキュリティなどを基礎から応用まで体系立てて学習します。わかりやすいカリキュラムとゆつくり丁寧な指導で、パソコン初心者や年配の方も安心して受講できます。

また、同講座は内閣府認証NPO法人パソコン整備士協会認定の資格試験にも対応。就・転職に役立つほか、独立開業や副業などに活かれます。

詳しい案内資料を無料送付中。希望の多い講座のため、問い合わせや資料請求はお早めに。

■那覇校会場/【隔週日曜】
 沖縄産業支援センター(那覇市小緑)

■うるま校会場/【隔週土曜】
 いちい具志川じんぶん館(うるま市宇川崎)

〈問い合わせ・資料請求〉
創造力開発センター
 福岡市中央区大名2-12-15-4F
<http://www.sokaijp.com>

3月期の国宝尚家衣裳特別展示「桃色地の衣裳」(3/8～4/3)開催! (那覇市歴史博物館 ☎869-5266)

ニース・ダイジェストNaha

2月8日(金)、第35回「那覇の物産展」那覇市長賞表彰式が行われ、翁市長から受賞者に表彰状と記念品が贈られました。この賞は、地場産業の振興に寄与することを目的に行われ、今回は最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞2点が選ばれました。

最優秀賞を受賞した有有限会社月桃花の玉城良子代表取締役は、「今回の受賞を、さらなる励みと追い風に今後使命感を持って頑張ります」と喜びを述べました。

まーさむん・すぐりむん (美味しい品・優れた品) がたくさん!
 ～第35回「那覇の物産展」那覇市長賞 表彰式～

2月9日(土)、壺屋のやちむん通り入口に高さ3.62m、重さ約3トンの「壺屋うふシーサー」とボタンを押すとウチナーぐちで音声案内をする「石碑」が設置され、その除幕式が行われました。

このシーサーは、一昨年9月に設置された「さいおんうふシーサー」と同時期に壺屋の陶工たちにより制作され、さいおんうふシーサーとは、まさに「兄弟」。那覇の新たなシンボルを、みなさんもぜひ目撃に来てください。

那覇のシンボル 巨大シーサー誕生!
 ～壺屋うふ(大)シーサー除幕式～

2月12日(火)、市民課の窓口業務の一部が民間委託され、受託会社の関係者や市職員が開始式を行いました。おそろいの制服に身を包み、窓口に一列になって始業開始を待っていた受託会社の職員は、始業チャイムとともに窓口を訪れた市民に丁寧に対応を行っていました。

民間委託は、民間企業の優れた専門性と柔軟性、ノウハウを活かしながら、さらなる市民サービス向上とともに行政コスト削減を図る目的で行われます。

窓口サービスのさらなる向上をめざして
 ～市民課窓口業務の一部 民間委託スタート～

中核市まで 31日 (3月1日付)

はじめていやーさい! 「中核市なは」

最終中核市那覇市誕生記念フォーラム 「ヒヤミカチ! まちづくり」

2月15日(金)パレット市民劇場で中核市「那覇市誕生記念フォーラム」が開催されました。

フォーラムは「ヒヤミカチ! まちづくり」と題して、登壇者のみなさんが中核市の制度や期待される効果、そして、これからの市民協働によるまちづくりの取り組みなどを熱く語りました。

また、栄町市場のアイドル「おばあラッパーズ」(注目度No.1の那覇市のご当地ヒーロー)「ムム又チハンター」も登場し、会場は大いに盛り上がりました。

中核市「那覇市」誕生を契機として、市民の皆さんの様々な活動がより充実し、那覇市の更なる発展を予感させる催しとなりました。

【お問い合わせ】 行政経営課 中核市移行準備室 ☎861-5033
 【ホームページ】 <http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/tyuukakusi/>